

学校運営協議会議事録

| | |
|-----|------------|
| 校名 | 大阪府立光陽支援学校 |
| 校長名 | 藤野 洋子 |

| | |
|---------|---|
| 開催日時 | 令和2年2月27日(木) 10:00 ~ 12:00 |
| 開催場所 | 大阪府立光陽支援学校 本館1階 図書室 |
| 出席者(委員) | 小田 浩伸(会長) 平賀 健太郎(副会長) 宮本 正路(委員) 鎌倉 義雄(委員) 清水 健司(委員) 向江 奈津子(委員) |
| 出席者(学校) | 藤野 洋子(校長) 前田 真紀子(事務長) 篠川 一樹(教頭) 林 佳巨(教頭) 吉川 勝敏(首席) 酒井 友行(首席) 石見 友一(首席) 岡本 一恵(首席) 古沢 宏明(指導教諭) 澤 綾子(指導養護教諭) 辻 美穂(小学部主事) 増田 健作(中学部主事) 菊池 亮輔(高等部主事) 西井 大介(病弱部主事) |
| 傍聴者 | 1名(本校保護者) |
| 協議資料 | 「令和元年度学校経営計画及び学校評価」「令和2年度学校経営計画案」 「第2回授業アンケート報告」「学校教育自己診断分析結果」 |
| 備考 | |

| |
|---|
| 議題等(次第順) |
| (1)校長挨拶 (2)「第2回授業アンケート」について (3)「学校教育自己診断」分析状況について (4)令和元年度「学校経営計画」達成状況について (5)令和2年度「学校経営計画」(案)について (6)意見交換 (7)教頭挨拶 |
| 協議内容・承認事項等(校長より内容説明) |
| <p>1. ≪「第2回授業アンケート」について≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月と12月の授業参観時にアンケートを実施。保護者の提出状況は1学期57%、2学期63%であった。各学部とも「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた数字は1学期より2学期は上昇。 ・自学部でのアンケート結果だけでなく、他学部の内容も含めて、全体を見て共有し実行していく。 ・「だいたいそう思う」という回答者が「そう思う」になるよう埋めていくことでさらに良い授業になる。保護者の自由記述が改善のヒントになることから、本校では授業改善のために教員に周知し活用している。厳しい意見もあるが、個別に対応し、内容の確認と改善の方向性を示している。 <p>2. ≪「学校教育自己診断」について≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の回収率100%。保護者は小学部72%、中学部74%、高等部は72%。 児童生徒用アンケートで「大人になった時の仕事について学習することがあったか」や「命の大切さや社会のきまりについて学習することがあるか」の問いに対し「わからない」が多い。必須項目であったが、子どもに分かりにくい文章表記の改善が必要。 ・保護者用アンケート肢体部門で昨年80%に達しなかった項目「いじめ等困っていることへの対応」「将来の進路指導」「ICT機器の活用」「ホームページでの発信」について数値が上昇。 ・「施設・設備の満足度」は他校を見学し、良い設備等を見た保護者からは「満足できない」の回答が多い結果になった。 ・病弱部門では、参観にいられていないこともあり、「授業参観や学校行事に参加したことがある」「将来の進路や職業についての指導」について「わからない」が多かった。 ・教職員用アンケートで「人権を尊重した教育活動」「防犯・防災・大災害時の対応マニュアル」「校長のリーダーシップ」「地域への相談支援体制」などはプラス5%以上となっており、「教育活動について、教職員が日常的に話し合っている」「相談体制の整備」「授業や研修会、授業参観などの振り返り」などはマイナス5%以上の結果となった。 ・「児童生徒・同僚間の言葉、言動」についてはかなり改善されている。「仕事の効率」については改善を目指す。 ・「情報の伝達」については話し合っている。 |

3. <<令和元年度「学校経営計画」の達成状況について>>

- ・4つの柱について ①安全安心②質の高い授業実践③組織力の向上④多様性社会の進展と実現
- ・①の「人権尊重の取り組み」については、研修や日常的な発信等を行い、学校教育自己診断関連項目の評価指標が81%まで上がった。
- ・「情報の伝達」については、昨年62%から70%越を目指したが、65%だった。校内全体ではできているが、細かな部分で足りないこともある。次年度、さらに「情報の伝達」を確実に実行できるように取り組んでいきたい。
- ・危機管理体制の強化について、1月29日に保護者回答訓練を行った。60%の保護者から返答をいただき、意見を参考に集約できた。変更点を検討したい。
- ・視線入力については、1月に活用実践を全教員で共有した。活用度を上げていく。
- ・病弱部門ではロボットプログラミング大会においてブロック優勝。全国大会でベスト8の実績を残せた。
- ・発信については、10年次研修の教員が8名おり、全員が公開授業を実施した。
- ・整理整頓は徐々に進んでいる。
- ・働き方改革として昨年度途中から取り組んでいる19時施錠は、今年度も定着できている。
- ・腰痛予防講座を専門病院と提携し、年間9回実施し報告書をまとめている。来年度も実施する。
- ・発信力の向上は地域や社会が変わっていくことが大切。
- ・肢体部門では、ポッチャで全国大会でベスト8の実績を残せた。

4. <<令和2年度「学校経営計画案」について>>

- ・「めざす学校像」「中期的目標」について説明し、学校運営協議会委員の方に承認していただいた。

協議内容・承認事項等(委員からの意見の概要)

<<委員より>>

- ・「第2回授業アンケート」について、選択肢が「A:そう思う」「B:だいたいそう思う」「C:あまり思わない」「D:思わない」「E:わからない」の5種類がある。多くの保護者が、「A」「B」を選択しており、肯定的な評価が得られているのは素晴らしい。さらに、「B」を選択された保護者は、「理想としている授業」と「現実の授業」に「やや差がある」という意思表示をされているととらえて、更なる授業の工夫・改善を行っていくと、もっと良くなると思う。
- ・「学校教育自己診断」について、教員用アンケートでどの項目も概ね70%を越えていることは素晴らしい。ただ、選択肢A(よくあてはまる)、選択肢B(あてはまる)を見て、Aが大部分を占めていなければならない項目もあるので、その観点での分析も必要である。
- ・「ヒヤリハット」の取組は、数値が特に高く安心安全につながっている。また病弱部門で、「子どもが安心して学校生活を送れる」「教職員が子どもに対して人権に配慮している」「自分自身やまわりの人を大切に育てようとしている」「いじめなどに真剣に対応」などの項目で保護者回答が100%肯定的評価であることは素晴らしい。先生方の熱意が感じられる。ただし、「将来の進路」についての項目は評価が低い。「将来の夢」を持てることが、「今を頑張ること」につながる。将来像を描ける機会を大切にしようか。
- ・校長の「教育理念等の明示」や「校長のリーダーシップ」の評価は高く、素晴らしい。
- ・令和元年度「学校経営計画」の達成状況について、19時に施錠しながらの働き方改革が実行できていることは、すばらしく、参考になった。
- ・個人の尽力でできること、できないことを理解しながら進めることが大切だと改めて思った。組織としての取組み・チーム力の大切さが伝わってきた。
- ・目標を高く持ち、厳しく振り返られている。緊急時の88番対応は素晴らしい。自身の学校でもアレルギー対応はしているがヒヤリハットもある。組織力を高めていくことが大切だと感じている。学校間交流は子どもたちも喜んでいて、今後も続けて、ともに学び、ともに育つ社会を作っていきたい。
- ・安心して学校に通わせている。居住地校交流も先生方の協力があったからこそできた。病弱部の子どもは、入院が長引けば長引くほど不安も大きいので、原籍校とのつながりは大変重要だと感じている。
- ・次年度の「学校経営計画」の「めざす学校像と中期的目標」について承認。
- ・各課題に全校的かつ組織的に取り組んでおられるので、継続してほしい。
- ・グランドデザイン作りには、ハード面(環境整備)も一緒に取り組む必要がある。

次回の会議日程

| | |
|----|---------------------|
| 日時 | 令和2年6月下旬開催予定 |
| 会場 | 大阪府立光陽支援学校 本館1階 図書室 |